

2013 年東大文 [1]

$$x(x-1)(x-3)=tx \text{ とすると } x\{(x-1)(x-3)-t\}=0 \quad x(x^2-4x+3-t)=0 \quad \text{---①}$$

C と l が原点以外の共有点を持つとき、 $x^2-4x+3-t=0$ が実数解を持つから

$$D/4=4-(3-t)=t+1 \geq 0 \quad \therefore t \geq -1$$

$x^2-4x+3-t=0$ の実数解が α, β であるとき、 P, Q の x 座標をそれぞれ α, β とすると、

$$l \text{ の傾きは } t \text{ であるから、 } |\vec{OP}|=|\alpha|\sqrt{t^2+1}, |\vec{OQ}|=|\beta|\sqrt{t^2+1} \text{ である。}$$

$t=-1$ のとき ①は $x(x-2)^2=0$ となり、 $x=2$ において接点を持つ。

このとき、 $|\vec{OP}|=|\vec{OQ}|=2\sqrt{2}$ であり、 $g(-1)=8$ である。

$t=3$ のとき ①は $x^2(x-4)=0$ となり、 $x=0$ において接点を持つ。

このとき、 P, Q のいずれかは原点に一致するから、 $g(3)=0$ である。

$$-1 < t < 3, 3 < t \text{ のとき } g(t)=|\alpha\beta|(t^2+1)$$

解と係数の関係より $g(t)=|3-t|(t^2+1) \quad t=-1, 3$ でも一致する。

$$-1 < t < 3 \text{ のとき } g(t)=(3-t)(t^2+1)$$

$$g'(t)=-t^2+1+2t(3-t)=-3t^2+6t-1=-3\left\{t-\left(1-\frac{\sqrt{6}}{3}\right)\right\}\left\{t-\left(1+\frac{\sqrt{6}}{3}\right)\right\} \quad t=1 \pm \frac{\sqrt{6}}{3} \text{ は } -1 < t < 3 \text{ を満たす。}$$

$$3 \leq t \text{ のとき } g(t)=(t-3)(t^2+1) \quad g'(t)=3t^2-6t+1=3\left\{t-\left(1-\frac{\sqrt{6}}{3}\right)\right\}\left\{t-\left(1+\frac{\sqrt{6}}{3}\right)\right\} > 0$$

$g(t)$ の増減は右の通り。

t	-1	...	$1-\frac{\sqrt{6}}{3}$...	$1+\frac{\sqrt{6}}{3}$...	3	...
$f'(t)$		-	0	+	0	-	/	+
$f(t)$		↘		↗		↘		↗

$-1 < t < 3$ のとき

$$g(t)=-t^3+3t^2-t+3 \\ =(-t+1)\left(t^2-2t+\frac{1}{3}\right)+\frac{4}{3}t+\frac{8}{3}$$

$$\text{より } g\left(1-\frac{\sqrt{6}}{3}\right)=\frac{4}{3}\left(1-\frac{\sqrt{6}}{3}\right)+\frac{8}{3}=4-\frac{4\sqrt{6}}{9} \quad g\left(1+\frac{\sqrt{6}}{3}\right)=\frac{4}{3}\left(1+\frac{\sqrt{6}}{3}\right)+\frac{8}{3}=4+\frac{4\sqrt{6}}{9}$$

以上により

$t=1-\frac{\sqrt{6}}{3}$ のとき極小値 $4-\frac{4\sqrt{6}}{9}$ 、 $t=1+\frac{\sqrt{6}}{3}$ のとき極大値 $4+\frac{4\sqrt{6}}{9}$ 、 $t=3$ のとき極小値 0 をとる。……(答)